

ID

氏名

年齢

科名

病棟

【肺移植】Rituximab療法

1～2 コース予定

疾患名 抗体関連型拒絶反応

主治医

指導医

HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()

スケジュール

		day1
リツキサン(リツキシマブ)	375 mg/m ²	↓

【注意】

- * 拒絶反応の抑制の場合は、移植術2週間以上前に投与し、
抗体価又はB細胞数の減少が不十分であれば、さらに1回追加投与可能
- * 拒絶反応の治療の場合は、初回投与で抗体価またはB細胞数の減少が不十分であれば、
2回目の投与可能
- * 移植終了後循環動態の安定を待って投与すること
- * 体温・脈拍・血圧・SpO2測定を速度アップ直前に行うこと

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

【1回目】

① カロナール 500 mg 1錠 + レスタミン 10 mg 5錠

内服

☆30分後より

② 生食 500 mLで血管確保

維持(20 mL/時間)

③ リツキサン + 生食 適量(10倍希釈:1 mg/mL)

* 総量600 mLを超える場合はテルモ生食 1Lを使用

◎輸液ポンプにて 25 mL/時間 で点滴静注

④ 25 mL/時間で60分点滴静注し、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて 100 mL/時間 で点滴静注

⑤ 100 mL/時間で60分点滴静注し、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて 200 mL/時間 で点滴静注

【2回目】 初回投与時に発現した副作用が軽微であった場合

- ① カロナール 500 mg 1錠 + レスタミン 10 mg 5錠
☆30分後より
② 生食 500 mLで血管確保
③ リツキサン + 生食 適量(10 倍希釈:1 mg/mL)
*総量600 mLを超える場合はテルモ生食 1Lを使用
◎輸液ポンプにて 100 mL/時間 で点滴静注
④ 100 mL/時間で60分点滴静注し、患者の状態に変化がなければ
◎輸液ポンプにて 200 mL/時間 で点滴静注
- 内服
維持(20 mL/時間)

	1コース目	2コース目
日付	/	/
リツキサン 開始時刻	↓	↓
確認		